

# 経営改善及び連携・活用に関する取組評価 (令和2(2020)年度)

法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室
----------	--------------	-----	--------------------

## 1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

### 本市施策における法人の役割

- ・市民生活に必要な地域の情報や市の魅力情報をタイムリーに提供します。
- ・市民が発信する情報を通じ、地域のコミュニティづくりに貢献します。
- ・災害時における緊急放送の担い手となります。

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり	施策 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進
	分野別計画	川崎市地域防災計画	

### 4カ年計画の目標

- 身近で役立つ魅力的な番組や地域安全・防災情報を提供すると共に、放送事業を中核とした収益の確保を図り、市に依存しない経営を目指します。
- ・市内唯一のコミュニティFMとして、地域の話や、行政・イベント・交通等の地域に密着したきめ細かな情報を提供し、自社ワイド番組での情報発信を強化します。
  - ・音楽・スポーツ等、魅力ある番組制作を行うとともに、市民の放送参加や番組出演についても積極的に推進します。
  - ・災害時における緊急放送の担い手としての役割を果たすため、定期的に緊急割込放送の訓練を実施するとともに、防災意識の啓発に向けた番組の放送を一層強化します。
  - ・新規番組等の獲得及び放送外事業の開拓拡大に取り組み、継続的な収益確保に努めます。

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	放送事業	地域情報の発信件数	件	1,690	1,790	2,965	a	A	I
		市民の放送参加人数	人	442	455	759	a		
		防災啓発番組の放送回数	回	119	135	162	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	△ 5,603	△ 1,500	1,854	4)	(2)	

## 3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	市に依存しない経営体制の確立	市委託料以外の売上比率	%	48.9	50.8	50.7	b	B	I

## 4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	適正・公正な運営体制維持	コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a	A	I

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【 I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

## 本市による総括

### 各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

#### 【令和元(2019)年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

令和元年度の市の総括を踏まえ、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う売上等の影響を最小限に留めるよう、スポンサー等へのケアを行うとともに、助成金事業及び時報CMの売上獲得や、地域情報の発信件数、市民の放送参加の増に積極的に取り組み、また、災害時における緊急放送の担い手としても、平時から防災情報等の提供を実施し、市民に開かれた情報共有の推進に貢献しました。

#### 【令和2(2020)年度取組評価における総括コメント】

市民生活に必要な地域の情報・市の魅力情報の発信や地域のコミュニティづくりに貢献しており、災害時における緊急放送の担い手としても、平時から防災情報等の提供を実施していました。特に、地域情報の発信件数の増に積極的に取り組んだことにより、令和元年度に続き目標を上回る実績をあげたことは評価できます。市民の放送参加人数も、前年度実績から減じたものの、新型コロナウイルス対策を徹底し、電話出演も積極的に取り入れたことにより、令和元年度に続き目標を上回る実績をあげたことは評価できます。

令和元年度から開局以来となるスタジオ放送機材の更新に着手したため、令和3年度以降も減価償却費の増加が見込まれます。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和3年度以降も売上等に影響が出ることが想定されますが、一時放送休止とした番組スポンサー等に対し、きめ細やかなケアを行い、事態収束後の放送継続を促すなど、放送事業を中核とした収益の確保に努めつつ、市内唯一のコミュニティ放送局として、地域に密着したきめ細かな情報の発信や防災意識の啓発を通じて、市民に開かれた情報共有の推進に貢献していくことを期待します。

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和2(2020)年度)

事業名	放送事業
<b>計 画 (Plan)</b>	
指標	①地域情報の発信件数、②市民の放送参加人数、③防災啓発番組の放送回数
現状	市民の身近な放送局として、市提供番組枠外においても市民に役立つ情報の提供や市民の番組出演を積極的に実施しています。防災関連放送については、コミュニティFMの最大のミッションとして取り組んでいます。市委託料の適減に対し、市委託料以外の民間等の売上増により事業収益の確保に努めています。
行動計画	ワイド番組(自社放送枠)内で地域密着情報の発信や市民の放送参加を可能な限り拡大します。また、防災関連については市と連携した訓練や防災啓発番組等の強化を推進します。
具体的な取組内容	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点を取り入れながら、引き続き、自社ワイド番組での市政情報や地域情報等の提供、市民の番組出演に取り組みます。また、防災に関しては、緊急割込み放送に加え、行政の防災訓練に参加し地域防災の広報や災害時放送の周知を図るとともに、防災啓発放送に取り組み、市民の防災意識の向上に貢献します。

## 実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 地域情報の更なる発信が、市の施策の推進において重要であり、法人の目標にもしていることを、社員のみなならず各パーソナリティにも明確に周知し、意識付けを徹底したことが根付いてきました。また、今年度に関しては、コロナ禍で在宅時間が増えたこともあり、市民にとって、情報を得るツールの一つだということを再認識し、コロナ感染予防対策情報や、地域情報内で川崎じもと応援券申込方法、利用・活用例など多くの情報を積極的に発信しました。一方、コロナ禍でイベント中止が相次いだことによりイベント関連情報を発信できる機会が減りましたが、目標値より高い実績値となりました。</p> <p>【指標2関連】 4月の緊急事態宣言中は原則、ゲストスタジオ出演を断っていたこと、令和2年度中はコロナ禍での放送体制として出演人数を制限していること及び中学生の職業体験やインターンシップが全て中止となったことから、前年までの実績からは減となりましたが、目標値は達成することができました。</p> <p>【指標3関連】 &lt;内訳&gt;  <ul style="list-style-type: none"> <li>■わが家の危機管理/計104回</li> <li>■かわさきぼうさいひろば・割込放送/計12回</li> <li>■1.7特別コーナー(1/11~1/16)小計11回 3.11特別コーナー(3/1~3/11・月~金)小計19回 備える。かわさき/計30回</li> <li>■防災一コマ/計12回</li> <li>■川崎市総合防災訓練 素材出し/計1回</li> <li>■神奈川エフエムネットワーク・黒岩知事コメント/計2回</li> <li>■かわさき ホット☆スタジオ「備える。かわさき “コロナ禍での災害対応”」/計1回</li> </ul> </p> <p>【その他】  <ul style="list-style-type: none"> <li>●自社ワイド番組以外のスポンサー番組でも川崎市の情報を織り交ぜながら進行をしている番組が多くあり、また、市民を番組ゲストに呼んでいるので、実際には上記指標より多くの情報を発信し、多くの市民出演ができています。</li> <li>●4月より午前と午後1回ずつ、自社ワイド番組内にて川崎市が発信する情報を基に「新型コロナウイルス感染症に関する情報」を放送しました。</li> </ul> </p>
----------------	--

## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	地域情報の発信件数	目標値	1,690	1,720	1,750	1,790	1,820	件
	説明 自社ワイド番組での地域情報発信件数	実績値		2,354	2,743	2,965		
2	市民の放送参加人数	目標値	442	446	450	455	460	人
	説明 自社ワイド番組出演の市民の人数 ※個別設定値:420(現状値の95%)	実績値		1,314	1,091	759		
3	防災啓発番組の放送回数	目標値	119	125	130	135	140	回
	説明 防災訓練放送及び防災啓発番組等の回数	実績値		122	149	162		

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満  ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	
指標3 に対する達成度	a	

**法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)**

コロナ禍のイベントの中止が相次ぎ、情報選択も例年とは違う視点が必要になりました。市民の番組出演も電話出演を積極的に取り入れることで前年までの実績より下回りましたが、各指標で目標値を上回ることができたため、「市民生活に必要な地域の情報や市の魅力情報のタイムリーな提供」、「市民が発信する情報を通じた地域のコミュニティづくりへの貢献」、「災害時における緊急放送の担い手」といった法人の役割を果たすことができました。また、4月からは自社ワイド番組の中で月～土の毎日、川崎市が発信する情報を基に新型コロナウイルス感染症に関する情報を放送。番組宛てメールなどにより市民が知りたい情報を把握し、川崎じもと応援券発売窓口の状況を発信するなど臨機応変に対応することもできました。

	<b>達成状況</b>	<b>区分</b> A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>区分選択の理由</b> <b>A</b> 社員をはじめ、放送に関与する人員が高い意識で地域情報の発信に取り組んだ結果、地域情報の発信件数は目標値を上回ることができました。市民の放送参加人数についても、前年度の実績値には及ばないものの、電話出演を積極的に取り入れたことにより目標値を上回ることができました。また、防災啓発番組の放送回数についても、計画的な取組により目標値を上回っており、市民生活に必要な情報の提供や市の魅力発信に寄与したと判断できます。
--	-------------	---	--

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値		637	△ 1,500	△ 1,500	△ 1,500	千円
	説明 直接事業費－直接自己収入	実績値	△ 5,603	△ 4,982	△ 6,647	1,854		
<b>行政サービスコストに対する達成度</b>		<b>4)</b>	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

**法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)**

平成8年の開局以来、放送設備は更新せず20年以上が経過しました。放送機材の老朽化への対策が必要となり、計画的に令和元年度、2年度とスタジオ及びスタジオ機器関連の設備投資を実施するとともに、毎年直接自己収入を増加する営業努力を重ねてきたところです。しかしながら、2年度より減価償却費が増額し、放送費が増え、その分を直接自己収入で賄いきれなくなったため、市の委託料の一部が金額上のプラス表示となったことによります。老朽化に対応した、放送事故を回避するための投資になりますので必要な投資になります。なお、予定していた設備更新は、2年度で終了しました。

	<b>費用対効果</b> (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	<b>区分</b> (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	<b>区分選択の理由</b> <b>(2)</b> 行政サービスコストの目標値の範囲を超えましたが、放送事故のリスク軽減のため、更新が必要なスタジオの機材のデジタル化を進めたことによるもので、必要不可欠な費用です。本市施策推進に関する指標の目標値は、全て上回り、市民が知りたい地域情報をよりタイムリーに提供することができているので、費用対効果は概ね十分と考えます。
--	--	---	--

**改善 (Action)**

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	<b>I</b> 新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、ニューノーマルな観点(電話出演、YouTube配信)を取り入れながら、引き続き、自社ワイド番組での市政情報や地域情報等の提供、市民の番組出演に取り組めます。なお、来年度もコロナの影響に配慮し、番組出演は電話出演も積極的に受け入れます。また、防災に関しては引き続き、地域防災の広報や災害時放送の周知を図るとともに、防災啓発放送に取り組む、市民の防災意識の向上に貢献します。行政サービスコストについては、次年度以降もプラスとなる見込みですが、売上向上に取り組む中でその縮減に努めます。

### 3. 経営健全化に向けた取組①(令和2(2020)年度)

項目名	市に依存しない経営体制の確立
<b>計画(Plan)</b>	
指標	市委託料以外の売上比率
現状	平成29年度決算における売上高全体に占める市委託料以外の売上額の比率は48.9%。
行動計画	営業担当に限らない社全体での営業活動強化により、放送枠・スポットCM等の販売を強化するだけでなく、朗読セミナーなど、放送外の収益も確保します。
具体的な取組内容	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各種売上等に影響が出ることが予想されますが、スポットCM及び新規番組スポンサーの獲得に引き続き取り組み、各番組の放送品質向上を図ると共に、放送枠料金の実勢価格の見直しを含めた売上向上への取組を推進します。また、朗読セミナー等の放送関連教育事業にも引き続き取り組み、COOL CHOICE等の補助金事業にも積極的に参加します。

### 実施結果(Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 2020年度 市委託料 36,617千円 その他売上実績 37,668千円 総売上に占めるその他の売上の割合は50.7%になり、目標値に達しなかったものの、昨年度比で売上比率を向上させることができました。</p> <p>【その他】 上期は、最初の緊急事態宣言中にスポンサー番組が何番組も放送休止になり、朗読セミナーが開催できない等が影響し、厳しいスタートでした。新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、下期には契約終了する番組も多数出てくるのではないかと危惧し、10月の番組契約更新に向けてきめ細かい対応を行うとともに、新番組の獲得に向けて営業活動を行った結果、年間を通して、終了した番組はスポンサー番組5番組に留まり、新番組はスポンサー番組7番組の獲得となりました。</p> <p>また、コロナ禍においても、自主財源の獲得・確保に向けた取組を精力的に行いました。その結果、放送収入全体の推移(対前年上期)は、総額マイナス約130万円となりましたが、新番組7番組中1番組は実勢価格の値上げをすることができました。そのほか、下期ではコロナ対策として広さのある会場に開催場所を移し、朗読セミナーを開催することができました。また、環境省の助成金事業「COOL CHOICE」も今回は新たにYouTube配信も取り入れ4年連続獲得をすることができました。</p> <p>更に、年間の売上については、時報CM等の契約終了で昨年実績には及びませんでした。また、スポンサー番組数は上期で純増し、下期においてもスポンサー番組数を純増することができました。</p>
---------------	--

### 評価(Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	市委託料以外の売上比率	目標値		49.2	50.0	50.8	51.6	%
	説明 売上高全体に占める市委託料以外の売上額の比率 ※個別設定値:46.5(現状値の95%)	実績値	48.9	50.1	50.5	50.7		
指標1に対する達成度		b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

#### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

今年度の新型コロナウイルスの感染拡大の状況下において、収入の主であるスポンサー番組数を減らすことがないよう努めましたが、わずかに目標達成となりませんでした。また、助成金事業「COOL CHOICE」では、YouTubeという新しい試みを開始。朗読セミナーもこの状況下に対応をした新しいやり方での開催と新しいことへの挑戦もできました。

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	B

### 改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各種売上等への影響が厳しくなることが想定されますが、既存スポンサーへの放送継続の働きかけに来年度は重きを置きます。新規番組スポンサーの獲得も引き続き実施しますが、まずは売上の現状を維持し、利益を出すことを目指します。各番組の放送品質向上を図るとともに、放送枠料金の実勢価格の変更を含めた売上向上への取組は継続して推進します。朗読セミナー、COOL CHOICE等の補助金事業にも積極的に参加します。


法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室
----------	--------------	-----	--------------------

### 4. 業務・組織に関する取組①(令和2(2020)年度)

項目名	適正・公正な運営体制維持
<b>計画 (Plan)</b>	
指標	コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	法令遵守に基づき運営しています。
行動計画	法令を遵守した運営が行われる体制を維持していきます。
具体的な取組内容	放送事業者として個人情報の取り扱い及び管理等を徹底します。 また、コンプライアンスに関する社内ミーティングや朝礼等での注意喚起を継続します。

<b>実施結果 (Do)</b>	
業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 社内ミーティングや朝礼等で注意喚起を行った結果、コンプライアンスに反する事案の発生はありませんでした。

<b>評価 (Check)</b>								
業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値		0	0	0	0	件
	説明 コンプライアンス違反が認められる事案の発生件数	実績値	0	0	0	0		
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
継続的にコンプライアンス違反の件数を0件としていることで、法人としての信頼獲得に寄与しています。								

	<b>達成状況</b>	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>A</b> 誠実に業務に取り組んだ結果、成果指標である「コンプライアンスに反する事案の発生件数」が目標値と同値の0件であったため。

<b>改善 (Action)</b>		
<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性</b>	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	<b>I</b> 放送事業者として個人情報の取り扱い及び管理等を徹底します。 また、コンプライアンスに関する社内ミーティングや朝礼等での注意喚起を継続します。

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
損益計算書	営業収益	80,107	77,239	74,285	
	営業費用	70,984	67,516	69,230	
	営業損益	9,124	9,723	5,055	
	経常損益	9,175	9,764	5,078	
	当期損益	6,203	6,615	3,602	
貸借対照表	総資産	170,335	181,074	175,372	
	流動資産	104,503	105,201	97,015	
	固定資産	65,832	75,873	78,357	
	総負債	15,569	19,692	10,388	
	流動負債	9,119	14,752	4,773	
	固定負債	6,450	4,940	5,615	
	純資産	154,767	161,382	164,984	
	資本金	140,000	140,000	140,000	
剰余金等	14,767	21,382	24,984		

エラーチェック

OK

OK

OK

OK

本市の財政支出等(単位:千円)

	平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
補助金				
委託料	39,937	38,234	36,617	
指定管理料				
貸付金(年度末残高)				
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)				
出資金(年度末状況)	77,000	77,000	77,000	
(市出資率)	55.0%	55.0%	55.0%	

財務に関する指標

	平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
流動比率(流動資産/流動負債)	1146.0%	713.1%	2032.7%	
純資産比率(純資産/総資産)	90.9%	89.1%	94.1%	
純資産利益率(当期損益/純資産)	4.0%	4.1%	2.2%	
総資産回転率(営業収益/総資産)	47.0%	42.7%	42.4%	
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/営業収益	49.9%	49.5%	49.3%	

法人コメント

現状認識	今後の取組の方向性	本市コメント
<p>営業収益の減については、新型コロナウイルス感染症の影響により、上期に朗読セミナーが開催できなかったこと等によるものです。営業費用の増については、第1スタジオ、第2スタジオ、無停電電源供給装置の更新のための減価償却費等が増となったことによるものです。</p> <p>令和2(2020)年度はコロナ禍のため、イベント(司会派遣)や上期の朗読セミナーの中止、番組放送の休止がありました。新番組の スポンサー獲得や下期の朗読セミナー開催等により、最終利益を計上することができました。</p>	<p>放送サービスを安定的に提供するため、収益確保に向けた取組として、①認知度向上(地域の巻き込みや斬新な企画の立案・実行、SNS連動で情報拡散を実施)、②営業力向上(放送料金の実勢価格の見直し、新規スポンサー獲得)、③街づくり(スポーツコンテンツを拡充し、市民と街を繋ぎ、盛り上げていく仕掛け作りを実施)を中心にいきます。今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続き、更なる厳しい状況が予想されますが、CM出稿等の獲得に尽力するとともに、朗読セミナーの開催など放送外事業の収入獲得にも継続して取り組みます。</p>	<p>本市が今後法人に期待することなど</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベント(司会派遣)や上期の朗読セミナーの中止、番組放送の休止など営業収益の減になりましたが、一方でこうした状況下においても、新番組の スポンサー獲得や下期の朗読セミナーの開催など収入の確保に向けた取組は評価できます。今後も新型コロナウイルス感染症による影響が続くものと予想されますが、営業収益の向上に向けて、取組を一層進めることを期待します。</p>

(2)役員・職員の状況(令和3年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	1	0	0	10	1	0
職員	4	0	0	4	0	0

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解

・理由

・今後の方向性